

給食が教えてくれたこと


西部中学校 三年 奈須 愛

私はよく友達とお互いに好きな給食について話すことがある。そのとき、いつも私はすぐにマーボ豆腐と答える。

初めて給食のマーボ豆腐を食べた時一番に私は何を感じたのか今でも覚えている。それは、いつも家で食べる一般的なマーボ豆腐と比べてとろみがあること。そして、様々な具材が使われていることだ。豆腐はもちろんのこと、豚肉やねぎ、にんじん、たけのこなどが入っている。その中で給食のマーボ豆腐を食べていて、たけのこが口に入っている時が一番好きだ。しかし、私はそこまでたけのこが好きではない。それなのになぜ私はマーボ豆腐に入っているたけのこを気に入っているのか。理由は、たけのこのコリコリとした食感がマーボ豆腐と絡み合っているからだ。それは給食のマーボ豆腐でしか味わえないたけのこの食感だと思う。初めて給食のマーボ豆腐を食べたあの時の私は自分がこれほどマーボ豆腐に入っているたけのこを好きになるとは思っていなかっただろう。今でも自分自身に驚いている。

そして、マーボ豆腐と一緒に食べるものといったらご飯。これは誰もが思っていることなのではないか。給食のマーボ豆腐は本当にご飯とよく合う。

私は小学生の時に「夏休み親子料理教室」に参加したことがある。そこで実際に給食で出ているマーボ豆腐を作った。自分がいつも食べている給食を自分で作ると少し不思議な感じがした。この機会を通して、普段は直接関わることもない調理場の方の話を聞くことができた。私が初めてマーボ豆腐を食べた時に感じたとろみについて、実際にいつも給食を作って下さっている調理場の方から話を聞く



と、初めて知ることや驚くことばかりだった。この機会に参加して改めてマーボ豆腐をもっと好きになった。

私が給食を通して学んだことは二つある。一つ目は、調理方法が変われば同じ食べ物でも好きになることがある。つまり、苦手な食べ物も食べられるようになるかもしれないということだ。これは、食べ物の好き嫌いに限らず言えることだと思う。何かできないことがあった時にすぐに諦めるのではなく、方法を変えてもう一度チャレンジしてみる。この姿勢が大切だと思った。二つ目は、実際に関わってみることで新たな発見ができるということだ。私は調理場の方と実際に関わってみて今まで知らなかった給食のことについて学ぶことができた。自分から歩みよることで視野をどれだけでも広げることができると思う。一点にとどまらず、そこから見える世界に足を踏み入れることに意味がある。これを給食が教えてくれた。

